審査員からのコメント

松山市の海岸におけるマイクロプラスチック汚染の実態調査
と対策に向けた啓発活動

マイクロプラスチック問題は、地球規模での海洋環境汚染として深刻化しており、海洋生物だけでなく食物連鎖を通じて人体への悪影響も懸念されている。本作品は、地域におけるマイクロプラスチック汚染の実態を調査することによって、この環境汚染が身近に迫っていることを認識するとともに、解決に向けた啓蒙活動に取り組むなど、意欲的な取り組みを行っている。そもそもこの問題は、人類が経済性・利便性を追求したことによって環境汚染が起きた典型的な事例であり、解決していくためには、これまでの仕組みを変えるための多大なコストが必要であり、そのコストを負担する企業や消費者が共通認識をもって取り組む必要がある。そのための身近でできる第１歩として、この活動を継続的に続け広げていくことは非常に有意義であり、今後の活動に期待したい。